

令和7年度岐阜県芸術文化顕彰受賞者

そね ようじ
曾根 洋司

(65 歳) 陶芸家

(敬称略。年齢は2月12日時点)

- ・京都芸術短大・京都府陶磁器訓練校を卒業後、23 歳から家業である製陶業に従事する。
- ・1970 年代半ばに途絶えた美濃焼「精炔器」^{せいせつき}の研究会を立ち上げ、平成 13 年に精炔器の生産を復活させた。
- ・平成 19 年に日展で初特選を果たし、平成 25 年には2回目の日展特選を受賞。令和 6 年には日本現代工芸美術展内閣総理大臣賞を受賞するなど、受賞歴多数。
- ・美濃陶芸協会副会長として、陶芸界の発展に努めている。

たにぐち ひろかず
谷口 裕和

(48 歳) 日本舞踊家

- ・幼少から西川流で手ほどきを受け、15 歳で上京。人間国宝 西川流十世宗家・西川扇藏氏^{にしかわせんぞう}、舞踊家で歌舞伎振付師の梅津貴昶氏^{うめづたかあき}に師事。その後、流派に属さない舞踊家として独立。
- ・平成 28 年には世界遺産 熊野本宮大社での奉納舞踊、令和元年には靖国神社 御創立 150 年記念大祭での奉納舞踊など、数多くの大舞台で活躍。
- ・毎年歌舞伎俳優などを迎え「谷口裕和の會」や別会などのリサイタルを開催。
- ・数多くの歌舞伎舞踊の振付も行う。令和 7 年公開の映画「国宝」では、振付、指導を担当。
- ・東京・関西・高山に拠点を構え、日本舞踊の普及を目指して活動している。

とよさわ じゅんぱち
豊澤 順八ふるた じゅんいち
(本名：古田 順一)

(74 歳) 義太夫三味線奏者

- ・19 歳で鳳凰座歌舞伎の役者として初舞台を踏み、女形や二枚目役を幅広く演じて活躍。
- ・故竹本美善太夫氏^{たけもとびぜんだゆう}の指導を受けて義太夫三味線を習い始め、さらに故竹本勝昇氏^{たけもとかつしょう}、故豊澤重松氏^{とよさわしげまつ}の指導を受けながら修業を積み、昭和 50 年から 50 年にわたり、鳳凰座歌舞伎において、県内でも数少ない義太夫三味線弾きとして活躍。
- ・県内各地の地歌舞伎団体から依頼を受け多くの公演に出演。また、県内各地で義太夫三味線、浄瑠璃の指導にもあたり、伝統芸能の伝承及び普及振興に尽力している。



令和7年度岐阜県芸術文化奨励受賞者

かとう よしこ
加藤 誉使子 (60歳) 美術活動家

- ・岐阜県立高校で28年間、美術の教諭を務めた後、岐阜市柳ヶ瀬にギャラリー「Lucca445」を開き、ワークショップや、アートと社会をつなぐ企画など様々な活動を展開。
- ・令和3年からアートイベント「ART LIFE GIFU」の実行委員長を務め、令和6年に開催された「清流の国ぎふ文化祭2024」では、地域の魅力を発信する「ちーオシ」プロジェクトにおいて岐阜市のコミュニケーターとして活躍するなど、地域文化の発信とアートの普及に努めている。



かんばら まさはる
神原 雅治 (23歳) ピアニスト

- ・4歳からピアノを始め、これまでに窪田直美、菅原望、現在は関本昌平、清水皇樹、エマニュエル・リモルディ、新井博江の各氏に師事。平成29年に「ぎふ・リスト音楽院マスターコース」を修了。現在、名古屋音楽大学大学院に在籍中。
- ・令和4年に第8回仙台国際音楽コンクール審査委員奨励賞、令和5年に第4回ハンス・フォン・ビューロー国際コンクール第3位、第47回ピティナ・ピアノコンペティション特級銅賞、令和6年にロン＝ティボー国際コンクール第4位、第38回摂津音楽祭リトルカメリアコンクール金賞（大阪府知事賞）など、受賞歴多数。
- ・「ぎふ・リスト音楽院マスターコンサート2024」に出演するなど、県内での音楽活動による地域振興にも貢献している。



岐阜県立大垣北高等学校自然科学部 (活動歴4年)

- ・令和3年からオオサンショウウオに関する調査・研究を始める。
- ・令和6年に「岐阜のオオサンショウウオを守る」をテーマとした研究で第68回日本学生科学賞内閣総理大臣賞を受賞するなど、様々な研究発表会で優秀な成績を収めている。
- ・また、岐阜県や下呂市の関係部署と連携し、在来オオサンショウウオの保全活動などを積極的に行っている。



デフキッズ・プロジェクト (活動歴 7 年)

- ・令和元年から、聴覚障がいの子どもたちを中心とした手話ミュージカルなどの公演を通じて、聞こえない子どもだけでなく、聞こえる子どもも共に参加することで、「共生」を学ぶ場を提供している。
- ・令和 6 年「清流の国ぎふ」文化祭 2024 では、県民参加型舞台「赤いアスターと時空の旅」を上演。
- ・東海地方だけでなく関西などでも公演を実施するなど、精力的に活動している。
- ・手話による表現、字幕の表示、A I による音声での台詞の読み上げなど、新たな表現手法を取り入れ、手話文化の振興と、聴覚障がい者の社会参加の促進に貢献している。



はぶり 半布里 (活動歴 26 年)

- ・富加町を拠点とするよさこいダンスチーム。平成 12 年に結成。「富加の町から元気を発信」を合言葉に、よさこい踊りを通じて全国に元気を発信している。
- ・令和 4 年に、「につぼんど真ん中祭り 2022」で飛騨古川祭をテーマに創作した作品「王道」で大賞を受賞するなど受賞歴多数。同年から「飛騨市観光プロモーション大使」も務める。
- ・各地で開催される祭りやイベントに積極的に出演し、地域振興と文化交流に貢献している。

